

世界文化遺産登録の町のホテルとして

改めて「おもてなしの心」を忘れずに！

平泉ホテル武蔵坊 代表取締役 鈴木 和博

平泉文化遺産は、平成 12 年 11 月に世界文化遺産登録暫定リスト入りを文化財保護審議会で決定されました。以来およそ 10 年の時を経て過日 5 月 26 日に正式に「本登録」となりました。この事は、地元の平泉町、岩手県はもとより東北全体の大きな喜びであつたに違いありません。東北、北海道で初めての「文化遺産登録」であります。

弊社ホテルは、恵まれた条件と環境にあります。第一に、文化財保護のため景観条例により平泉町内全域に 3 階建以上の建物建設には大きな規制がかかり、事実上新たな大型のホテルは建設できないのが現状です。（同町内においては同業の新規参入は、事実上不可能です）。第二に、世界文化遺産の 5 つの構成資産のおよそ中心部に位置しております。中尊寺、無量光院跡までは歩いて 10 分、毛越寺、観自在王院跡までは同じく 5 分、金鶏山（義経妻子の墓あり）までは 2 分という恵まれた環境にあります。又、平泉駅より徒歩 15 分で天然の温泉が湧出しております。

私共は、これらの恵まれた条件と環境に決して甘んじることなく、建物は新しくはありませんが、物心の手入れと掃除を常とし、改めて「おもてなしの心」に手を合わせ、お客様をお迎えしたいと念じております。



外観



展望大浴場



お料理の一例

次に、平泉文化遺産の登録資産を簡単にご紹介させていただきます。

中尊寺は、奥州藤原氏初代・清衡が造営したもので国宝第一号の金色堂のほか、3000 余点の国宝、重要文化財が伝わっております。松尾芭蕉の句「五月雨のふりのこしてや光堂」は当時の平泉を詠んだものとして有名です。毛越寺は、2 代基衡が造営した寺院、大泉が池を中心とした浄土庭園は、訪れた人たちの心を洗ってくれます。寺域は国指定特別史跡、庭園は国指定特別名勝になっております。観自在王院跡は、2 代基衡の妻が毛越寺に接して造営した寺院。舞鶴が池を中心とした浄土庭園が残っております。無量光院跡は、3 代秀衡が造営した寺院。京都の平等院鳳凰堂を模したともいわれております。国指定特別史跡でもあります。金鶏山は、平泉すべてを見渡せる位置、毛越寺や無量光院との関わり、集中する経塚から平泉のいう空間の象徴でもあります。清衡様の願い「争いのない浄土の国造り」「平和思想」に想いを寄せながら是非一度平泉へいらして下さいませ。



無量光院跡



観自在王院跡



金鶏山



岩手県 平泉町

平泉ホテル武蔵坊

〒029-4102

岩手県西磐井郡平泉町平泉字大沢 15

TEL: 0 1 9 1 - 4 6 - 2 2 4 1